

優秀賞

水といえ、富山

富山大学附属中学校 一年 奥 望帆子

私が住んでいる富山県は、雄大な自然に恵まれた地域であり、その最大の魅力は、標高三千メートルを超える山々と水深千メートルと言われる富山湾に囲まれた、世界的にも珍しい地域です。

この地形は、私たちに自然界における水の大切さを教えてくれます。富山県で生まれ育った私の生活に、水は欠かせません。水の恵みを十分に受けとっている地域の住民として、富山県の地形と水の役割について考えてみたいと思います。

まず、富山県の山々についてです。三千メートルを超える山々には、冬に大量の雪が降り積もり、春から夏にかけて雪解け水となって流れ出します。この雪解け水は、川を流れ、富山湾へと注ぎます。山々は、水源の供給源として重要な役割を果たし、県内には多くの川があります。

また、山から流れ出る水は、生態系を支える重要な役割も果たしています。さらに、雪解け水は農業にも利用され、豊かな水源が米や野菜などの農作物を育みます。特に、富山県の米や野菜は、その品質の高さで知られています。水は、私たちの生活を支える源であり、その循環によって私たちは様々な恵みを受けています。富山県は「水の王国」とも呼ばれており、名水百選にも選ばれる湧水が豊富です。

一方、富山湾は、水深千メートルを超える深い海であり、豊かな漁場を形成しています。富山湾は、魚介類をはじめとする海の生物にとって重要な生息地であり、地域の漁業を支えています。富山湾の「寒ブリ」は、全国的にも有名です。また、「シロエビ」や「ホタルイカ」など、富山湾ならではの海の幸も豊富です。

しかし、心配なこともあります。二〇二四年一月に発生した能登半島地震により、シロエビやベニズワイガニの漁獲量が減少したというニュースを見ました。現在、大学生などが海底調査を進めていますが、

自然災害は恵まれた自然環境を壊してしまう可能性があります。改めて、水の影響力は大きく、富山県の山々と富山湾の水の循環を通して、自然と人との共生の大切さを、感じています。山から流れ出る清らかな水、富山湾に広がる豊かな海水は、地域の発展を支える力であり、私たちに自然の大切さを教えてくれます。水の循環を守り、自然を守ることが、未来のためにも重要です。

能登半島地震からの復興を願い、富山県の美しく雄大な自然、そして水の大切さを再認識し、水があることへの感謝と誇りを持って生活していきたいと思えます。

また、富山県の豊かな水は、私たちの生活だけでなく、産業や文化にも深く根付いています。例えば、清らかな水を利用した米作りは、私たちの大事な産業の一つです。また、豊富な水資源は、黒部ダムなどの水力発電にも利用され、地域のエネルギー供給を支えています。しかし、この豊かな水も、地球温暖化や環境汚染の影響を受けています。近年、富山県でも集中豪雨が増加し、土砂災害のリスクが高まっています。また、マイクロプラスチックによる海洋汚染も深刻な問題です。これらの問題は、私たち一人ひとりの行動と密接に関わっています。日々の生活で節水を心がけること、プラスチックごみを減らすことが、富山県の美しい水環境を守るために必要な行動です。私たちは、水の恵みに感謝し、未来の世代にこの豊かな自然を受け継いでいく責任があります。そのためにも、自然と共生する持続可能な社会の実現に向けて、私たち一人ひとりが意識を高め、行動していくことが大切です。